

企業の「AI 活用」を請け負う 「ULURU AI ブリッジ」をうるる BPO が提供開始

「AIと人力」を活用した独自モデルで労働力不足問題の解決を目指す株式会社うるる（東京都中央区 代表取締役社長 CEO：星 知也）の100%子会社である株式会社うるる BPO（東京都中央区 代表取締役社長：桶山雄平、以下「うるる BPO」）は、企業の AI 活用を現場レベルで支援する新サービス「ULURU AI ブリッジ」の提供を開始しました。

本サービスは、AI 導入後に直面する「使いこなせない」「業務に定着しない」といった課題に対し、診断・設計・実装を通じて、現場での AI 活用・定着までを一貫して支援いたします。

また、このたび実践的な AI 活用の検証を支援する無料^(※1)PoC パートナーを限定 10 社で募集します。

※1：無料対象となる検証範囲や要件の詳細は、個別のお打ち合わせ時にご提示いたします。



「ULURU AI ブリッジ」サービスページ：<https://uluru-ai.com/>

■「ULURU AI ブリッジ」の提供背景

近年、生成 AI の普及を背景に、AI 活用を取り巻く環境は急速に変化し、さまざまなツールや支援サービスが提供されています。AI そのものを提供するツールベンダー、導入や活用戦略を描くコンサルティング、従業員のリテラシー向上を支援する研修サービスなど、それぞれが AI 活用の入り口を支える重要な役割を担っています。一方で、AI を現場で使いこなすための運用設計やデータ整備、改善の取り組みといった持続的な活用は、現場に委ねられるケースが少なくないのが実情です。

うるる BPO が企業で AI ツールの導入・活用に関わるビジネスパーソン 1,201 人を対象に実施した「生成 AI 導入後の利用実態と課題に関する調査」^(※2)によると、組織で生成 AI を利用している人は 8 割を超えている（80.9%）一方で、3 人に 1 人

（33.6%）が「コア業務に活用できていない」と回答しました。また、「生成 AI 活用に向き合う余裕がない」と答えた層ほど、「かなり利用している」割合が 44.7%と最も高く、活用が進むほど改善や活用の幅を広げる取り組みに手が回らない実態も明らかになっています。

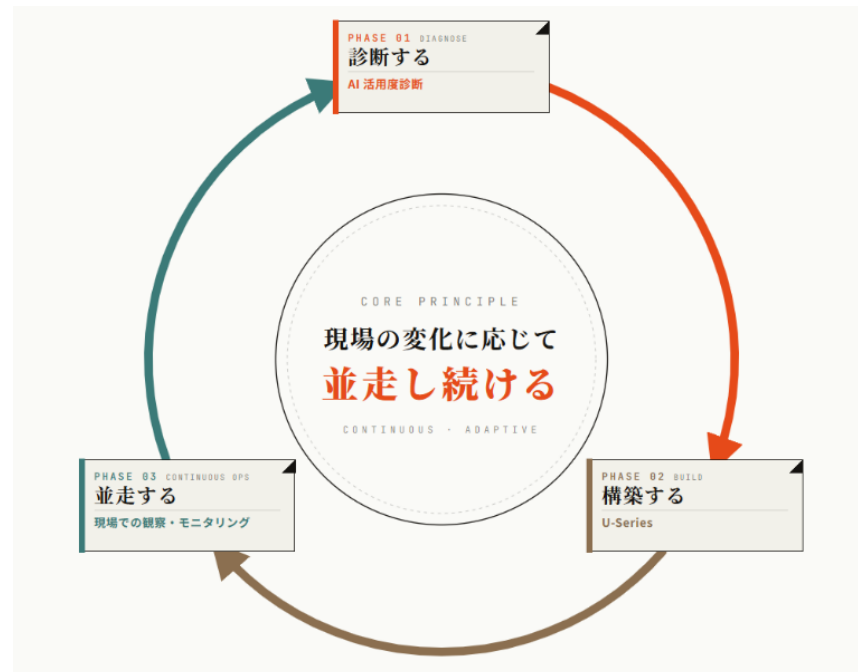
これらの結果から、AI 導入後の「現場での活用設計・運用」を担う支援の必要性が高まっていることを受け、「ULURU AI ブリッジ」の提供に至りました。

※2：「生成 AI 導入後の利用実態と課題に関する調査」の結果詳細：<https://www.uluru.biz/25154>

■「ULURU AI ブリッジ」サービス概要

「ULURU AI ブリッジ」は、新たに提供する以下の 2 つのサービスを、「診断する・構築する・並走する」の 3 つのプロセスで組み合わせ、組織の成長や現場の変化に応じた AI 活用支援を実現します。

また、単発の導入支援に留まらず、この 3 つのプロセスを継続的に回すことで、運用定着後も新たな課題や施策を見直しなが、AI が現場で活用され続ける状態づくりを目指します。



【3つのプロセス】

診断する： AI 活用度診断を用い、自社の AI 活用の現状と業務における実装を阻むボトルネックを特定します。

構築する： 診断結果を基に、「U-Series」から必要なサービスを選定し、各社の状況に最適化した形で、AI 活用の基盤を構築・実装します。

並走する： 実装後も現場に入り込み、運用の定着を徹底支援します。定期的なヒアリングやモニタリングを通じて現場の変化を捉え、新たな課題が生じた際には即座に「診断・構築」のプロセスへフィードバック。

このサイクルを繰り返すことで、AI 活用が現場に定着し、継続的な業務改善につながる組織づくりを支援します。

【提供サービス】

① AI 活用度診断

AI 活用度診断は、自社の AI 活用の現状を可視化し、実装に向けた具体的なロードマップを提示するサービスです。AI 活用の段階や課題の深さに応じて、2 つの診断を用意しています。手軽に 8 つの指標で詳細なスコアを算出し、課題解決に向けたセルフチェックができる「WEB 診断」と、そして個社ごとの課題や目的に深く踏み込む「精密診断」で、企業の AI 活用フェーズに応じて支援します。

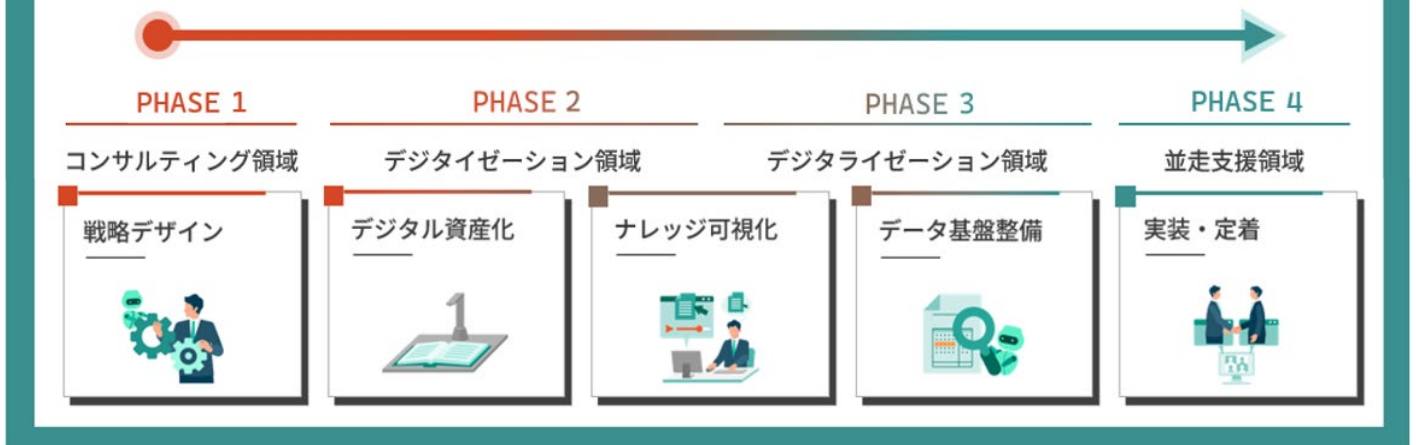
② U-Series

「U-Series」は AI 活用に必要な実務を、5 つのカテゴリに整理した計 19 種のサービスです。

「戦略デザイン」「デジタル資産化」「ナレッジ可視化」「データ基盤整備」「実装・定着」の 5 カテゴリで、上流の活用構想から、データの整備、現場での運用定着まで、AI 活用に必要となる幅広い実務領域に対応します。

「U-Series」5つのサービスカテゴリ

診断結果を基に、「U-Series」から必要なサービスを選定し、各社の状況に最適化した形で、AI活用の基盤を構築・実装します。



■サービス提供体制

AI活用を現場に定着させるには、ツール導入にとどまらず、運用設計やデータ整備、各社の業務実態に応じたプロセス設計が不可欠です。うるるBPOは、20年にわたり6,000社以上に対して業務効率化を支援し、累計33,000件を超える受託案件を通じて、多様な業務フローを設計・運用してきました。この膨大な実績を通じて培われた「ディレクションノウハウ」を活かし、AI活用の実務定着を支援します。

本サービスでは、自社BPOセンターや国内外のパートナー、広範なクラウドワーカーネットワークといった多様なリソースを組み合わせ、各社の状況に応じた運用体制を構築します。

・400名規模の厳格なセキュリティ体制を備えた自社BPOセンター

徳島に電子化特化型のセンター、大分と福岡にカスタマーサポート・サクセス特化型のセンターを構え、機密性の高い業務にも対応可能な運用環境を提供します。

・100社超のパートナーネットワーク

オフショア・ニアショアのBPOパートナーに加え、AIツールベンダー、コンサルティング会社、研修サービス事業者など、多様な領域のパートナーとの強固なネットワークを保有。専門性の高い領域にも、特定のツールに縛られない中立な立場で対応します。

・クラウドソーシングサービス「シュフティ」

うるるグループが運営する登録者49万人のクラウドソーシングプラットフォーム「シュフティ」を活用。スケールとスピードが求められる実務体制の構築が可能です。

【「ULURU AIブリッジ」無料PoCパートナーを限定10社募集】

本サービスの提供開始にあたり、実践的なAI活用の検証を支援するPoCパートナーを**限定10社**で募集します。「AIを導入したいが進められない」「活用イメージが描けない」といった課題を抱える企業に対し、AI活用の第一歩を支援いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社うるるBPO 担当：平山 contact_bpo@uluru.jp

■今後の展望

企業における AI 活用は、導入そのものではなく、「現場で使われ続けること」が重要なフェーズへと移行しています。一方で、業務やデータ、組織体制が変化し続けるなか、AI 活用を定着させるには継続的な改善と運用支援が欠かせません。うるる BPO は「ULURU AI ブリッジ」を通じて、企業の AI 活用が一過性の取り組みに終わることなく、現場で継続的に成果を出し続ける状態を支えてまいります。また、データ整備などの周辺業務を支援することで、企業が本来注力すべきコア業務へリソースを集中できる環境づくりにも貢献します。こうした取り組みは、うるるが提唱する「埋蔵労働力資産^(※3)」の創出・活用にもつながるものです。今後もうるるグループは「人のチカラ」と「IT・AI のチカラ」を掛け合わせ、「労働力不足を解決し 人と企業を豊かに」というビジョンの実現に取り組んでまいります。

※3：「埋蔵労働力資産」：労働意向がありながらも、さまざまな理由で就労できない「埋もれている労働力」と、IT・AI の進展によって今後代替される「埋もれゆく労働力」の 2 つから生み出される資産で、うるるが 2025 年 2 月に提唱した新たな概念。うるるの推計によると、現在約 15 兆円分の「埋もれている労働力」が存在し、2030 年までには約 120 兆円分の新たな価値が「埋もれゆく労働力」として創出される見込み。（プレスリリース：<https://www.uluru.biz/news/14928>）

■株式会社うるる BPO (<https://www.uluru-bpo.jp/>)

設立：2014 年 10 月（株式会社うるるより子会社化）

所在地：

- ・東京本社 東京都中央区晴海 3 丁目 12-1 KDX 晴海ビル 9F/11F
- ・徳島第 1 センター 徳島県小松島市大林町宮ノ本 100-1
- ・徳島第 2 センター 徳島県小松島市大林町森ノ本 23-10
- ・徳島第 3 センター 徳島県小松島市大林町宮ノ本 98-1
- ・徳島つぎ町事業所 徳島県美馬郡つぎ町貞光森ノ本 8 番
- ・福岡センター 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 5-3 ホテルクリオコート博多 2F
- ・大分センター 大分県大分市荷揚町 3-1 いちご・みらい信金ビル 8F

代表者名：桶山 雄平

事業内容：

- ・総合型アウトソーシング「うるる BPO」
- ・伴走型カスタマーサクセス代行サービス「CSerBPO（シーサービーピーオー）」
- ・高精度の AI-OCR サービス「eas（イース）」
- ・障害者雇用トータル支援サービス「eas next（イースネクスト）」

【うるるグループ 概要】株式会社うるる (<https://www.uluru.biz/>)



労働力不足解決カンパニー

うるるは、労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして、働きたくても働けない「埋もれている労働力」と、AI によって今後代替される可能性が高い「埋もれゆく労働力」の 2 つから生み出される、「埋蔵労働力資産」の創出・活用を軸に事業を展開しております。「AI と人力」を掛け合わせた独自のビジネスモデルを通じ、労働力不足を解決する持続可能な事業を展開することで、「労働力不足を解決し 人と企業を豊かに」というビジョンを実現してまいります。

設立：2001 年 8 月 31 日

所在地：東京都中央区晴海 3 丁目 12-1 KDX 晴海ビル 9F

代表者名：星 知也

事業内容：

- ◆CGS (Crowd Generated Service) ※CGSとは、クラウドワーカーを活用したうるる独自のビジネスモデル
- ・電話代行サービス「[fondesk \(フォンデスク\)](#)」
- ・電話自動応答サービス「[fondesk IVR \(フォンデスク アイブイアール\)](#)」
- ・入札情報速報サービス「[NJSS \(エヌジェス\)](#)」「[nSearch \(エヌ・サーチ\)](#)」
- ・官公庁ビジネスを上流工程から支援するプラットフォーム「[GoSTEP \(ゴーステップ\)](#)」
- ・入札資格管理サービス「[入札資格ポータル](#)」
- ・官公庁・自治体・独立行政法人向け購買調達サービス「[調達インフォ](#)」
- ・幼稚園・保育園向け写真販売システム「[えんフォト](#)」
- ・卒園アルバム制作サービス「[えんアルバム](#)」
- ・出張撮影サービス「[OurPhoto \(アワーフォト\)](#)」
- ◆クラウドソーシング
- ・プラットフォーム「[シュフティ](#)」の運営

■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社うるる ブランド戦略部

TEL : 03-6221-3069 E-Mail : pr@uluru.jp